

技術情報シート

1. 技術の名称	廃棄物を原料とした固形燃料(Refused Paper and Plastic Fuel: RPF)製造販売事業
2. 技術の内容	廃プラスチック並びに製紙スラッジを主な原料として、石炭の代わりとなる RPF を製造・販売する。
3. 技術の概要	【技術の目的・用途】 製紙工場等、現在石炭を使用している工場・作業所に対して製紙スラッジ並びにマテリアル・リサイクルに廻りにくい廃プラスチックを主原料とした RPF を製造・販売する。この事業を通じて 3R(Reduce, Reuse, Recycle)を推進することができる。 【技術の特長】 ・事前に異物除去並びに選別をするため、品質が安定している。 ・石炭と同等の熱量の燃料を作ることができる。 ・廃棄物のエネルギーを有効利用した石炭の代替燃料であるため、CO2 削減並びに最終処分場の延命化に貢献できる。  技術の目的・用途、技術の特長、実績、価格 株式会社市川環境エンジニアリング(IKE)行徳工場 【実績】RPF 製造設備並びに類似施設導入実績 ・IKE 行徳工場:処理能力 12t/時間、(サーマル・リサイクル) ・エム・エム・プラスチック株式会社:処理能力 1.5t/時間、(マテリアル・リサイクル) 【価格又はその問い合わせ先】 下記7. 問合先窓口・担当者をご参照下さい。
4. 技術の分類	
①用途分類	都市ごみ処理、産業系廃棄物処理、リサイクル(サーマル)
②対象廃棄物	古紙、廃プラスチック、その他(製紙スラッジ、木くず、繊維くず)
③提供役務	プラント建設、廃棄物処理サービス、技術提携・供与、コンサルティング、調査・データ処理
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	ASEAN 諸国
6. 検索キーワード	リサイクル、RPF、固形燃料、廃プラスチック、古紙、製紙スラッジ
7. 問合先窓口・担当者	株式会社 市川環境エンジニアリング 窓口:イノベーション事業室 担当:高野、石塚 連絡先:+81-3-5540-4220